

事業コード	H26-建-新-05			区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業費(交通安全)			部局課室名	建設部 道路課
事業種別	歩道設置事業			班 名	道路環境・維持班 (tel) 018-860-2483
路線名等	主要地方道 白沢田代線			担当課長名	柴田 公博
箇所名	大館市大森			担当者名	佐藤 朋章
総合計画との関連	政策コード	04	政 策 名	安全で安心な生活環境の確保	
	施策コード	03	施 策 名	四季を通じて快適な生活環境の確保	
	指標コード	01	施策目標(指標)名	快適で利便性の高い道路環境の整備	

1. 事業の概要

事業期間	H27 ~ H30 (4年)		総事業費	2.5億円	国庫補助率	7/10	
事業規模	延長 L=810m 幅員 W=5.5(9.0)m (2.5-0.5-2.75-2.75-0.5)						
事業の立案に至る背景	<p>主要地方道白沢田代線は、大館市白沢から大館市岩瀬を結ぶ県道である。主に旧花岡町、旧田代町の地域住民の生活道路として利用されている。また、沿線には小中学校が点在し、児童の通学ルートとしても利用されている。</p> <p>当該区間は平成27年4月に開校予定の北陽中学校(大館二中、花岡中、矢立中が統合)の通学ルートとして利用されるが歩道が設置されていない。当該区間は通学路指定されることが決定されており、地元および大館市からも要望を受けていることから、早期に整備を実施する必要がある。</p>						
事業目的	<p>○通学路における児童の安全確保</p> <p>○歩車分離による車両通行の安全性向上</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度以降
	事業費		250,000	40,000	110,000	70,000	30,000
	経費内訳	工事費	138,000		40,000	70,000	28,000
		用補費	80,000	10,000	70,000		
		その他	32,000	30,000			2,000
	財源内訳	国庫補助	175,000	28,000	77,000	49,000	21,000
		県 債	67,500	10,800	29,700	18,900	8,100
その他							
一般財源		7,500	1,200	3,300	2,100	900	
事業内容			測量、各種調査、詳細設計、用地補償	本工事、用地補償	本工事	本工事	
調査経緯	○平成25年度 道路概略設計						
上位計画での位置付け	○第2期ふるさと秋田元気創造プラン基本戦略(安全で安心な生活環境の確保)の「四季を通じて快適な生活環境の確保」を推進する事業						
関連プロジェクト等	○市道二中長面岱線道路整備事業(統合中学校へのアクセス道路、開校に合わせ供用予定)						
事業を取り巻く情勢の変化	○統合中学校(北陽中学校)(平成27年4月開校予定)						
事業効率把握の手法	指標名	歩道整備率					
	指標式	実績延長/道路延長					
	指標の種類	○ 成果指標 ● 業績指標	低減指標の有無		○ 有 ● 無		
	目標値 a	39.4 %		データ等の出典	道路課調べ		
	達成値 b	39.0 %					
達成率 b/a	99.0 %		把握の時期	平成26年 4月			

## 2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 ( 特 記 事 項 )	評 価 点
必 要 性	○当該区間は統合中学校の開校後に生徒の通学路と利用されるほか、現在も花岡小学校の通学路として利用されている。 ○計画の終点部は歩道設置済みであり、整備により一部連続性が確保できる。 ○道路幅員が狭く、特に冬期においては歩行者、車両とも通行が困難である。	20点
緊 急 性	○当該区間における事故件数は3件(平成7、17年)で、車両相互および車両と自転車の追突事故が発生している。交通量が多くなる朝、夕方は通学時間帯と重なることから児童が事故に巻き込まれる可能性が高く、非常に危険な状態である。	25点
有 効 性	○当該区間は交通安全指定道路(第3号基準)であり交通事故等の減少に有効である。 ○当該区間は統合中学校開校後通学路として利用され児童の安全確保に有効である。	10点
効 率 性	○5年以内に供用開始が可能であり効果の出現が早い。	10点
熱 度	○大館市から歩道設置の要望書が出されている。	15点
判 定	ランク ( ● I ○ II ○ III ) 判定ランクIであり、事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。	80点
総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留 評価結果から事業実施箇所としての優先度はかなり高く、事業を実施すべきである。	

## 3. 総合政策課長の2次評価

総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
当該区間はH27開校予定の北陽中学校の通学ルートとして利用される予定であり通学路として指定される見込みであるが、歩道が設置されておらず、事故も発生している。児童の安全確保及び歩道設置済み区間との連続性確保の観点から、必要性及び有効性が高く、また中学校開校時期が来年度と緊急性も認められることから、事業実施の一次評価は妥当と判断される。	

## 4. 財政課長意見

意 見 内 容	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
計画区間は主に地域住民の生活道路となっているほか、今後開校予定の北陽中学校の通学ルートとしても利用されることから、通学路における安全確保の観点から事業実施の優先度は高いと判断される。また、歩道の設置については必要最少限とし、効果的かつ安価となるようコスト削減も検討されており妥当である。	

## 5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総 合 評 価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業の実施は妥当である。	

## 6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

計画的な実施に努める。
-------------

## 7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。
--------------

評価種別 新規箇所評価  
 適用基準名 交通安全事業（歩道）

事業コード (H26-建-新-05 )  
 箇所名 (大館市大森 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	12時間自動車交通量	4,000台/12h以上	10	5		
		1,000台/12h以上	5			
		1,000台/12h未満	0			
	歩行者交通量	100人/日以上	10	10		通学路以外の場合
		100人/日未満	5			通学路の場合
		学童・園児 40人/日以上	10			
	歩道の連続性	学童・園児 40人/日未満	5	5		
計画区間前後に歩道あり		10				
計画区間前後の一方に歩道あり		5				
	計画区間前後に歩道なし	0				
	計		30	20		
緊急性	関連事業の有無	あり	10	10		
		なし	0			
	事故状況	歩行者の死傷事故あり	10	5		
		車両単独もしくは相互の死傷事故あり	5			
	交通安全総点検要対策箇所等	事故の発生なし	0	10		
該当あり		10				
	該当なし	0				
	計		30	25		
有効性	交通安全指定道路	あり	5	5		
		なし	0			
	通学路指定	あり	5	0		
		なし	0			
	公共施設	あり	5	5		
なし		0				
	計		15	10		
効率性	供用開始までの期日	5年以内に供用開始が可能であり、効果の出現が早い	10	10		
		供用開始まで6年から7年の時間を要する	5			
		供用開始まで8年以上と相当時間を要する	0			
	計		10	10		
熟度	地元ニーズ	文書要望あり	10	10		
		口頭要望あり	5			
		要望なし	0			
	地元の協力体制	あり	5	5		
		なし	0			
	計		15	15		
合計			100	80		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		